医療現場の経験生かし 国会で政策提言へ

松本尚衆議院議員 本紙独占インタビュー

昨年の衆議院総選挙で、千葉13区で自民党から立候補し、激戦の末に初当選した松本尚（まつもと・ひさし）衆議院議員に、国会での活動状況や政策提言などを伺った。

―本日はお忙しいところありがとうございます。まず、初めての国会を迎えられて、その活動状況についてお伺いいたします。先生は「30余年の医師としての経験を国会につけていきたい」と仰っていましたけれども、実際に国会議員として活動されてみていかがお感じでしょうか？

松本　そうですね、今開催中の通常国会は、初めてのしかも150日間という長期間の国会です。「ここは想像していた通り」ということと、「ここは予想と違ったな」ということとありますね。国会議員の仕事っていろいろとある中で、一番感心したのは「自民党内では皆さん、ほんとに熱心に議論しているのだな」ということです。

　世間の自民党に対するイメージというのは必ずしも良くない部分もあると思います。政権与党のせいでしょうか、厳しい目で見られているのだと思いますが、中から眺めるとまた別の見え方ってあるんですね。自民党内には、外交部会や厚生労働部会、安全保障調査会など、多くの部会とか調査会とかがあります。基本的に議員はこれらのどれに参加しても自由、というのがまず素晴らしいなと思いました。しかも連日、朝の8時から始まっています。複数の部屋でそれぞれの部会、調査会が開かれていますので、「はしご」して廻ることもできます。

本紙独占インタビューに答える松本尚衆議院議員

平場の議論は自由闊達

　それぞれの案件に対して、担当省庁からの説明があった後は出席議員たちが発言や質問をします。質問には省庁からの回答があります。大事な課題については省庁が持ち帰って検討してくれます。そうやって議員たちの手が上がり終わるまで部会は続くのですが、まだ発言希望の手が上がっているのに、「もう1時間なので時間切れだからとか、次の会議があるから」と言って「今日はこれで終了」ということがありません。全員の発言が終わるまで、とにかく会議が続くというところが「素晴らしい」と思いました。

　もちろん発言したことがその通りになる保証はまったくありません。皆でやり取りを何回もやって、最後は部会長一任となります。多数意見や良い意見は部会長の裁量で取り入れられます。すべては部会長次第、と思われるかも知れませんが、少なくとも意見の集約がきちんとできる能力のある人が部会長になっていると思います。こんなふうに、自民党は平場の議論をとても自由闊達に行っていて、「実は、自民党ってよくやってるんだなぁ」というのが正直な感想です。

　こうやって部会での意見が反映された法律案が、今度は党の政調（政務調査会）に上がって、さらに総務会に諮られます。諮られる機関が上に行くごとに内容が更にブラッシュアップされていくわけです。もっとも党内にはいろんな考えを持っている議員がいるわけですから、全体の調和を優先するあまりに段々と「気の抜けた」文言になってしまうこともあるようです。

―上に行くたび一本ずつ骨が抜かれていく感じですか？

松本　そうですね。私はまだ党を二分するような大激論は経験していませんが、それでもちゃんと決めるべき所はしっかり党の中で議論しているんだな、というのはちょっとホッとした気がします。あとはどれだけ「骨」の部分を残していくかというのは、議員の声の大きさとか、党幹部の人たちの裁量で決まりますから、きちんとした国家観のある人を国会議員に選んでおかないと背骨も何も無くなるという危機感は抱きますね。

―有権者もそれを意識しなければなりませんね。

松本　その通りです。それと、「民主主義というのは時間がかかる」という点もよく分かりました。一つの物事を決めていく過程にすごく時間がかかる。国会議員は国民の代表ですから、皆で十分に議論をしなければなりません。それはそれでやむを得ないのですが、コロナ禍でも分かるように非常時になると意思決定に時間がかかるのは不利ですよね。こんなときのためにも、緊急事態の時にどういう仕組みやルールを準備しておけばよいかという議論は大事だなと思います。

　面白いなと思ったのは、国会の本会議を行う議場はとても荘厳で立派ですけど、やっていることはシンプルなんです。分かりやすく言えば、議長の「この法案に賛成の方の起立を求めます！」という声に、「賛成！」って起立して終わりなんですよ。

―簡単なのですね。

松本　それまでに委員会で十分な議論を終えていますから、民主主義の最終的な議決行動はとても簡単なんですね。だったらその辺にある体育館でやったっていいんですが（笑）、1億2千万人が暮らしている、2千年以上の歴史がある一国の行く末を決める為の議決ですからね。それにはそれなりの「舞台装置」が必要で、だからこのような立派な建物が必要なんだなということを、国会議事堂の本会議場の議席に座って初めて感じました。ちなみに私の今国会での本会議場の座席は、2列目で議長の真正面の場所、ほぼ本会議場の中心に座っています。

　国会の中にはいろいろな慣習ってあるじゃないですか。今の時代、そんなことしなくてもいいんじゃないかなんていうのもあるのですが、明治時代に議会政治が始まってからずっと積み重ねられてきたものですから、まったく合理的でないことも国権の最高機関のための作法として考えれば理解ができます。例えば、記名投票。名前を呼ばれて、ズラズラと並んで、名前が書かれた白札（賛成）か青札（反対）を国会職員の人に手渡します。そんなのスイッチ一つ押せば済む話で、実際、参議院ではすでにそうなっているのですが、そんな非合理的とも言える作法もあるわけです。だけどもそれも一国の民主主義のための舞台装置、というふうに思うようになりました。国会に行ってみて初めて理解できて、すっかり考えが変わりましたね。

2面へつづく

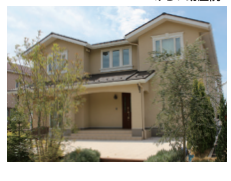
利根新報

発行
利根新報編集部
編集発行者　崎山 勝功
〒270-1326
千葉県印西市木下1661-18(2F)
電話・FAX　0476-77-3846
利根新報 WEB版
http://toneshinpo.com

患者さんの立場に
立った、安全で
良質な医療の実践と
人間性豊かな
良き医療人の育成
日本医科大学
NIPPON MEDICAL SCHOOL
千葉北総病院
CHIBAHOKUSOH HOSPITAL
〒270-1694
千葉県印西市鎌苅1715
代表 0476-99-1111
www.nms.ac.jp/hokuso-h/

みらい
ウィメンズ
クリニック
産婦人科・麻酔科
医療法人社団愛弘会
みらいウィメンズクリニック
みらい助産院
院長・茆原弘光
印西市原4-2-2　☎0476-40-1200
http://www.miraiwcl.com/

診療時間　月 火 水 木 金 土 日
9:00~13:00 受付 8:30~12:00　● ● ● ● ● ● ／
14:30~18:00 受付 14:00~17:00　● ● ● ● ● ●※ ／
●日曜休診
※土曜午後の診察時間は14:00~17:00（受付13:30~16:00）



社会福祉法人
北斗泰山会
ほくとたいざんかい
〒270-1327
千葉県印西市大森 2216-3
TEL 0476-42-7300
https://hokutotaizankai.com/
利用者の皆様が安心できる
介護と医療を提供します。

医療法人社団
千葉医心会
〒270-1327
千葉県印西市大森 2218-1
0476-42-8864
〈受付時間〉9:00 ～ 17:00
https://chibaishinkai.com/
地域の皆さま一人ひとりに寄り添い
安心して生活できるように
サポートいたします。